

安全利用点検(ゴールデンウィーク前)実施



立山砂防事務所では、ゴールデンウィーク前と夏休み前に、砂防施設とそれに隣接する公園施設等の安全利用点検を実施しています。この取り組みは平成14年度から続いており、休日に皆さんに安心して利用していただけるよう、地域住民の方や公園管理者などと共に、危険な箇所がないかを合同で点検するものです。

この度、平成28年度ゴールデンウィーク前の点検を4月21日(木)に実施しました。点検場所は、常願寺川水辺の楽校(本宮砂防堰堤周辺)、立山1号公園(藤橋 左岸橋詰)、千寿ヶ原緑地公園(真川右岸)の計3箇所であり、「人・川ふれあい連絡会」のメンバーを中心とした地元自治会員を含む計26名が参加しました。

点検項目は、施設内の設備に関する損傷や転落等の危険がある箇所の有無、そして、注意が必要な箇所に柵や看板等の対策が講じられているかなどです。

点検表に基づき一箇所ずつくまなく歩き回りチェックした結果、砂防施設には損傷が無かったものの、注意喚起看板の破損や公園内の水路脇に転落する危険性が高い箇所がある等が確認されたため、早急に対策を講じることになりました。

「人・川ふれあい連絡会」の概要

この連絡会は、本宮砂防堰堤及びその周辺施設を豊かな自然、砂防の歴史や地域の人々とのふれあいの場として安全に活用することを目的に平成18年に設置されました。

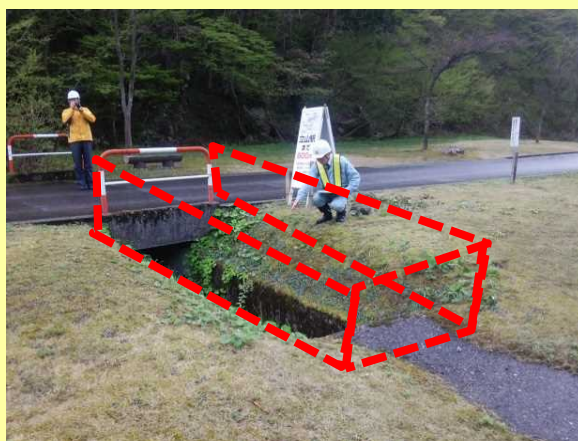
構成メンバー: 本宮、芦峠寺、小見、亀谷、和田、花切、粟巢野、原、横江、千垣地区の各区長及び国立立山青少年自然の家、小見小学校、立山カルデラ砂防博物館、立山 神通砂防スペシャルエンジニア、立山町、富山市、立山山麓防災・安全対策協議会 並びに立山砂防事務所

常願寺川水辺の楽校



点検前の行程確認の様子

立山1号公園



転落防止柵を設置すべき箇所

千寿ヶ原緑地公園



注意喚起看板を再設置すべき箇所